ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

2022-23 年度　**大宮西ロータリークラブ 週報**

創　立：1963年３月22日
例会場：パレスホテル大宮
例会日：月曜日 12:30～13:30

会　長　小沢　孝
幹　事　榎本 貞寿
クラブ会報委員会　小岩 淳一

第2753例会　2022/11/07
発行日　2022/11/21

会 長 挨 拶

会長 小沢 孝

皆さん、こんにちは！ 今月はロータリー財団月間です。のちほど「ロータリーの友」の解説をお聞きしましょう。

先週は、埼玉栄高等学校インターアクトクラブとの合同例会でした。皆さんご参加くださり、ありがとうございました。インターアクトクラブ結成 40 周年と当クラブ 60 周年に、ふさわしい例会となりました。

さて、今日は子どもの記憶と教育について、お話しいたします。

１つめ、横断歩道で渡ろうとしている人が待っていたら車を止めて横断させますよね。47 都道府県で調査をしたところ、一番多く停車したのは長野県だったそうです。幼少期に横断歩道の渡り方で 「手を上げて渡って、運転手さんに一礼する」と学んでいるのだとか。その幼少期の教育が、結果的に大切だったのだと思うのです。

２つめは知人のお話。見沼区の土呂中学校で、子どもやボランティアと植木の苗を植えたことがあったそうです。最近、わかったことですが、当時参加した子どもが大人になって「あれがきっかけで緑や自然に興味を持って好きになっだ」と話してくれたのだそうです。いずれも、幼少期の経験と記憶が教育として備わって、人間形成にも繋がったのではないでしょうか。

10 月８日の秋葉の森総合公園での合同奉仕事業において、子ども達が“自然を体で感じた”ことで、自然や環境を大切に考える大人になってくれたら、我々の行動・アクションが、本当に良かったと振り返れます。そして皆さん、地区大会への参加をお願いいたします。その奉仕活動の発表を見に行きましょう。

子どもと向き合う奉仕っていいですね。今年はさとえ学園小学校の「教育の奉仕」や秋葉の森総合公園での自然教育など、前半はそのような奉仕をしてきました。

まずは好奇心！ そして奉仕へ！ 行動いたしましょう。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

竹内 雅人 会員

お客様紹介・米山記念奨学生紹介

■2022 学年度米山記念奨学生
グェンティガンさん
ご紹介：会長エレクト
藤嶋 剛史

幹 事 報 告

幹事 榎本 貞寿

①11/７（月）、本日例会前に理事役員会が開催され、９月の例会及び事業報告、並びに 12 月の例会計画について承認されましたことをご報告いたします。
12 月第一例会のイニシエーションスピーチと来年２月第三例会が入れ替わり、会員フォーラムとして行いますので宜しくお願い致します。
②今週 11/12（土）13（日）は地区大会となります。全会員が登録となっております。
理事、役員、地区出向者の方は、両日ご参加ください。大宮西ロータリークラブとして昨年度のロータリー賞・ガバナー賞の２つを受賞しましたので、福田パスト会長が登壇します。

60 周年 新たな奉仕活動へ ～すべては好奇心から始めよう～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2　YK-12ビル ４階
TEL 048-871-8881　　FAX 048-871-8882
E-mail：west@rc-omiya-west.com　　HP：http://rc-omiya-west.com/

また、先日行われた第４グループ合同事業の発表もございますので、会員の皆様、11/13（日）のご出席をお願い致します。本年は当会の内山会員がガバナー補佐となっている地区大会ですので、例年に増して最低会員数の半数、50～60名の参加を会員の皆様にお願い致します。
なお、11/14（月）の例会はございませんのでお間違え無く。
③ガバナー月信 11 月号について。P.4 に 2023-24 ロータリー財団奨学候補生の森田悠介さんの記事、P.12 に第４グループ合同事業の記事が掲載されていますのでご覧ください。
④今月のロータリーレートは 148 円です。

米山記念奨学金支給及び近況報告

■米山記念奨学委員会
副委員長 **松本 有祐**
より授与
「先週は、秩父に旅行したり、子どもと芋掘りしました。藤嶋会員もご一緒でした。土・日曜はアルバイトで大変だったりしましたが、今朝は女子部会の方たちと清掃して、おかげさまでリセットできました」

委員長報告

■青少年奉仕担当理事
土屋 隆弘
10/29（土）移動例会、インターアクトとの合同例会には、皆様多くの方々にご参加いただきありがとうございました。これからもインターアクトとの深い関係を築いてまいります。

■女子部会 会長 **福田 和子**
11/7（月）朝６：30 より７：00 まで、JR 大宮駅西口前で清掃作業をいたしました。
参加者は、女子部会メンバー・男子会員有志・米山記念奨学生・新入会員で、さいたま新都心 RC 村上康一様にもご参加いただきました。ありがとうございました。
外への奉仕活動として継続している事業です。今回も特に植え込みの中にたくさんのゴミが隠されていて、見えないところの清掃ができました。朝早く“心をひとつに”大宮の玄関をきれいにして、気持ちもすっきりしました。そして、女子部会の幟と着用した黄色ベストで、出勤前の人々に

ロータリー活動の広報が、少しはできたかと思います。

誕生日祝い

小熊 一（１日）、**荒井 理人**（10 日）、**円谷 友香**（11 日）、**清水 恒信**（13 日）、**緒方 学**（14 日）、**冷牟田 正見**（16 日）、**小島 徹**（20 日）、**中村 健一**（20 日）、**島袋 博昭**（23 日）、**苗村 康男**（28 日）**坂田 勝彦**（29 日）、**大楽 剛**（30 日）　各会員

ロータリー財団寄付者 表彰

●**メジャードナー**
清水 恒信、中村 雅之
各会員

小沢会長から表彰

●**マルチプル ８回** 小沢会長から表彰
齋藤 實、荒井 伸夫 各会員

●**マルチプル ７回** 小沢会長から表彰
清水 恒信、中村 雅之 各会員

●**マルチプル ３回** 小沢会長から表彰
新藤 信夫 会員

●**マルチプル ２回** 小沢会長から表彰
川村 郁夫、新藤 栄介、結城 剛、新見 和男、新井 清太、中村 健一、鈴木 恭二、池田 進、冷牟田 正見、新城 盛辛、田口 修身、小木曽 賢己、金田 敬次、中谷 輝彦、吉田 奉行 各会員

●**ポールハリスフェロー** 小沢会長から表彰
緒方 学、松本 有祐、川﨑 春夫、石井 敦、上田 純一、吉田 浩士、増永 裕樹 各会員

●**ベネファクター**
会長 小沢 孝
永井 博 財団委員長から表彰

ロータリーの友 解説

■広報委員会 委員長
風岡 淳一

●**横組**

P.5. RI 会長メッセージ
人々にロータリーの感動を与えるにはロータリー・モメントを共有することが必要。そのためには、私たち一人一人が体験したロータリー・モメントをソーシャルメディアや地元メディア等を通して発信することが必要。

P.7～11.
今月はロータリー財団月間、大規模プログラム補助金について特集。
大規模プログラム補助金とは、重点分野において成果をあげている奉仕プロジェクトに対し、範囲、インパクト、持続可能性に基づいて評価を行い、毎年一口 200 万ドルの補助金を授与しているもの。
二件目の大規模プログラム補助金プログラムとしてナイジェリアでのプロジェクトを紹介。
このプロジェクトは、新生児の死亡率が高いナイジェリアで、医療と家族計画指導が受けられることを周知、 医療従事者の技術とデータ追跡能力の向上を目指す。

P.42.43.
鎌倉 RC 久保田英男さん（菓子製造販売）
テーマは「異国生まれの日本育ち」江戸時代の開港によって日本に入ってきた中国の麺料理ラーメンの話や、とんかつやカレーライス等の日本で生まれた洋食の発祥の経緯について紹介。
「伝統を守ることも大切ですが、新しい伝統をつくる、受け入れるという日本の柔軟性も大切にしたいですね」

●**縦組**

P.20. ロータリーアットワーク
旭川西 RC カンボジアで小学校に手洗い施設を設置、現地で児童一人一人に、配布したせっけんを使って手洗い指導を行った。

イニシエーションスピーチ

株式会社 武蔵野銀行
浅野 雅弘
2021 年 8 月 27 日入会

実家は川口市で機械加工業を営んでおりまして、父は亡くなり、現在は兄が継いでおります。私が生まれた年は、父が勤めていた会社が倒産し独立開業した直後で、経済的に苦労していた頃でした。
それが影響し栄養が不足したわけではないのでしょうが、幼い頃から小柄でありました。物心のついた頃より、「1 月生まれの早生まれだから同級生の中で小柄なんだ」 と育てられましたが、気づくと 1 学年下の子よりも小さい自分がおりました。が、毎日、友達と野球に明け暮れる楽しい子供時代を過ごしました。
中学時代は、体格ハンデの少ない卓球部（川口市内ではそれなりの成績）、高校でも当初卓球部に入りました。が、別の中学から入った川口市内で 1 位、2 位の同級生がおりまして、「これではエースになれない」と思い即退部。すると、体育の教官全員に囲まれ、他の運動部入部を退部の条件とされ、やはり体格のハンデの少ない剣道部に入部いたしました。夏暑く冬は寒い、練習はきつく、女子部員は倒れ度々救急車が来る… そんな状況でした。華の共学高校三年間はきつかった部活の思い出が殆どです。 今でも年 1 回、 同期で集まりワイワイやっております。
その反動からか、大学時代は楽しく様々な社会勉強をさせて頂きました。そのため大学は単位をとるのが精一杯でした。

当行に就職した動機は、「生まれ育った埼玉で金融を通して地元の役に立ちたい」と思ったことです。大学時代の教授は、デパートかアパレル業界への就職を想像していたようで、私が銀行に入ることに相当驚いていました。今でもデパートなどに買い物に行くと、頻繁に店員さんに間違われますので、この教授の想像は的を射ていたのかもしれません。
入社当時の私が思う銀行員像は、銀縁眼鏡に七三分け、ダークスーツに白のレギュラーシャツが定番。それで、私の存在はかなり異質でした。支店配属当初の挨拶では「歌って踊れる銀行員を目指す」と言って、失笑を買っておりました。先輩方からは、服装・髪型・真っ黒に日焼けした顔、全てを注意される毎日でした。しかし、同期の中で一番先に役職を頂戴しました。役職名は「宴会部長」、今でも当時のメンバーの OB 会では万年幹事を仰せつかっております。
新入行員時代から、お客様からは可愛がって（面白がって）いただきました。当時の上司からの「お前のようなタイプは成績が悪ければ、それ見たことかとなる。やれば普通以上に見直してもらえる」との言葉を励みにし、今日があると思っております。
銀行員生活では、様々な失敗経験をしてまいりました。

当時の周囲の方々には多大なご迷惑をかけ、今では二度と起こさぬよう自戒しております。

店頭での振り込め詐欺、直前での防止（今では警察とのホットラインがありますが、当時は店頭での防止が肝でした）についてお話します。その手口は実に巧妙で、完全に信じきってしまっている方を説得することは極めて困難です。被害を防止できた方は、口を揃えて「まさか自分が」とおっしゃいます。お気をつけ下さい。また、とある団体からの融資の申し出をお断りに行き、３時間以上のやりとり、度重なる面談、休日に自宅ポストに団体のチラシを投函されたこともありました。現行法施行以前は、店頭における様々な嫌がらせ、アタリ屋からの不当な慰謝料の請求、等々いろいろありました。が、そういう場面に出くわすとアドレナリンが出るらしく、何故か沈着冷静に対応できたものです。
振り返りますと、常にお客様・上司・先輩・同僚・部下・家族そして運に助けられ、ここまで来れたものと思っております。父は、亡くなる前日に見舞いに行った時「最近は大きな失敗はしてないか？」と最後まで不肖の息子を心配してくれました。そんな父の姿を思い出し、これからも努力していかなければと思っております。

地域のお客様とは、駒月支店長・上田支店長と共にお役に立つべく努力し、好意と友情を深めていきたい所存です。どうかこれからも、何処で会っても「ヤア」と言って頂くと幸いです。

川鍋商事　川鍋 洋子
2022 年 1 月 17 日入会

高橋誠一パスト会長のご紹介で入会させていただきました。
私の祖父は、カント哲学を修めた教育者でした。祖父の記憶は全くなかったのですが、幼い頃、祖父のノートを発見しそこに書かれた美しい英文とドイツ語に魅せられ、大学で英語を勉強しました。大学卒業後は幸運にも　羽仁もと子創立の自由学園という、東京のキリスト教の学校で 22 年間教鞭をとりました。校舎は、アメリカの建築家フランク・ロイド・ライトとその弟子 遠藤　新氏によるもので、イギリスの庭園を思わせる美しい学園でした。
在職中に結婚し、三人の娘にも恵まれ、川鍋の母の大いなる応援を得て、働きながら子育てをすることができました。その後、退職し、川鍋商事を立ち上げ、英会話教室を建て、第二の人生をスタートさせました。その際以前から興味のあった茶道を学び始めたところ、その魅力の虜となり三十年が経とうとしています。

茶道教室を開き、最初の茶会は縁のある自由学園明日館で行いました。この建物はライト氏による物で、現在、重要文化財に指定されています。
1994 年と 2010 年に主人は２度の脳腫瘍手術を受けましたが、医術の進歩により快復できました。茶道裏千家鵬雲斎主催の「国連の夕べ」にも参加でき、宗匠に質問して意気投合し、一緒に写真に収まることができました。

その時のことを「宗匠に意見同意と握手され　夢見心地に夏の夜は更けゆく」と短歌に詠んでいます。RI 会長の田中 作次氏にも、千宗室 家元に質問したことを褒めてもらい、大層喜んでおりました。
2005 年の初茶会から、年に一回のペースで茶会を開催し経験を積み重ねて、2010 年には東京の好日会にて茶会開催にこぎつけました。裏千家では、西の桐蔭席、東の好日会という由緒ある茶室があります。その晴れ舞台の茶会なので、大きな喜びでした。

茶道は大寄せの茶会ばかりでなく、茶事と言って、数名の賓客を自宅の茶室にお招きし、懐石・濃茶・薄茶を差し上げおもてなしする会を重んじています。その為に日頃から研鑽を積んでいます。私も茶室披き茶事、還暦茶事、クリスマス茶事などで、多くのお客様をお招きしました。英国の貴族であるデービッド・アトキンソンさんをお招きした茶事では、利休作の茶杓を使いましたので、「埼玉で利休様の茶杓に出合えるとは！！」と、とても喜んでおられました。
茶道は五百年前から脈々と続き、今も日本の文化として、多くの外国の方々に親しまれており国際交流に貢献しています。そして 500 年前の茶道具が今日に至るまで大事に引き継がれ、現存している事が驚嘆に値する事だと思います。そして私も一瞬の間、この貴重なお道具をお預かりでき、嬉しい限りです。
茶道を始め 22 年がたち、漸く西の横綱の京都桐蔭席で茶会を担当することができました。埼玉県人では初めてなので喜びもひとしおでした。

2018 年には、品川開東閣にて立礼席を設け、各国大使、大使夫人をお招きして、英語で茶会開催しました。
旧岩崎家高輪別邸、三菱開東閣はジョサイア・コンドルの設計で、バラの香り漂う西洋のお城のようでした。

60 の手習いで能のお稽古と万葉集の勉強を始めました。もちろん茶道を極めるためです。今では自宅に仕舞の稽古場を創り、稽古しています。それもこれも主人やまわりの方々の理解と協力があっての事と心から感謝しています。

日本文化の集大成である茶道に携わったことにより、今では多くの世界が広がり、人との繋がりも増えお弟子さん達とも楽しい幸せな時間を過ごす事ができています。人生の後半は、第三の人生として、社会への恩返しと考え、ロータリーに入会させて頂きました。
皆様に色々教えていただき、ロータリアンとして少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
本日は本当にありがとうございました。

ご 挨 拶

■木本 栄一 会員
ご無沙汰しております。
昨年７月、鼠径部悪性リンパ腫（リンパのガン）にかかりました。さいたま市民医療センターに２ヶ月入院しました。抗がん剤の治療をしまして、今年２月に、ガンが消えているとの診断が出ました。
抗がん剤の副作用で、毛が抜けたり、味を感じなかったりし、人生がおもしろみのないものに。それは２～３ヶ月で戻りました。白血球が減り感染しやすいので、外出もできませんでした。手先や舌のしびれもありましたが、現在は治りました。また、体重が 10 kg以上減り、歩けなくなり階段も上れませんでしたが、トレーニングして最近は大丈夫です。
日本人の 1/2 がガンになると言われます。さいたま市民医療センターはガン治療であまり有名ではないのですが、それでも多くのガン患者さんがいました。今後は健康に気を付けてロータリー活動を続けたいです。